

平成25年4月11日

都内私立中学高等学校  
校 長  
教 務 担 当 教 諭 殿  
関 係 教 職 員

一般財団法人 東京私立中学高等学校協会  
会 長 近 藤 彰 郎  
東京私学教育研究所長 清 水 哲 雄  
教務運営研究会委員長 小坂部 好 史  
(共催：公益財団法人東京都私学財団)

### 教務運営研究会「講演会」のご案内 高校における授業改革の課題 ―学びの共同体のヴィジョン―

春暖の候、先生方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、当研究会では、学習院大学教授佐藤学先生を講師にお迎えして、21世紀型の高校が追求すべき学びの質についてご講演をいただく運びとなりました。標題の通り先生方の授業に大変参考になる講演会となることと存じます。お誘い合わせのうえ是非ご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成25年6月10日(月) 18:00~20:00 (質疑応答を含む)

2. 会 場 アルカディア市ヶ谷(私学会館)会議室  
千代田区九段北4-2-25 Tel 03(3261)9921 (代)  
※ 裏面案内図をご参照ください。

3. 講 師 佐藤 学 先生 学習院大学教授 博士(教育学)

【プロフィール】東京教育大学教育学部教育学科卒業。東京大学大学院教育学研究科修了。2004年東京大学大学院教育学研究科長・東京大学教育学部長。2012年より学習院大学文学部教授及び東京大学大学院教育学研究科名誉教授。『教師というアポリア…反省的实践へ』『学校の挑戦…学びの共同体を創る』『「学び」から逃走する子どもたち』『学力を問い直す…学びのカリキュラムへ』『習熟度別指導の何が問題か』『教師花伝書―専門家として成長するために―』など著作多数。「学び」の研究者として欧米でも高い評価を受ける。「学びの共同体」を提唱し、数多くの学校改革を実践した。授業研究をリードしてきた教育方法学の第一人者である。

4. 内 容 高校における授業改革の課題 ―学びの共同体のヴィジョン―

近年、高校の授業改革が広範に議論され活発化している。日本の高校の授業風景は、半世紀以上にわたって、ほとんど変化しないまま、旧態依然とした一斉授業が行われてきた。しかし、世界的には一斉授業はもはや博物館に入っている。21世紀型の高校は、どのような学びの質を追求すべきなのだろうか。講演では、先進諸国の高校の授業風景と日本の高校の授業改革の状況をスライドで紹介しつつ、学びの<質と平等の同時追求>を達成する授業改革とそれを実現する学校の研修体制のあり方について提言したい。

